



とねしょうかわらばん

がつ かほん
9月10日版

2学期が始まって

緊急事態宣言が続く中、2学期が始まりました。子ども達、教職員、それぞれが感染防止対策を意識しながら毎日の学習を進めています。そんな中での4年生の学習を紹介します。



社会科では、「自然災害から人々を守る活動」について学習しています。自分たちの身の回りで起こる自然災害にはどのようなものがあり、どういう備えが必要なのか、自分は命を守るためにどんなことができるのかについて、学習したり、考えたりしています。お家でもそういう話題が出るかもしれません。家庭でしている備えなどについても話してみてください。

←この写真では、グループで話し合いをしています。タブレットに自分の意見を箇条書きして、友達と共有しながら話し合いをすることにより、小さい声でも分かりやすくなるように工夫しています。真ん中にもスペースを空けています。



運動会に向けての団体演技の練習、いつもの運動会では、学年全体（4クラスや5クラス）で練習を始めるのですが、今年はクラス数を減らして間をあけて練習しています。みんな一生懸命覚えて、かっこよく演技しようがんばっています。



日本各地から

4年生は1学期に大阪府の学習をした後、日本全国の都道府県について調べ学習を行いました。それぞれが興味のある都道府県を1つ選び、調べて分かったことを手紙に書いて、各都道府県の知事宛てに送りました。国語「手紙の書き方」の学習で学んだことを生かして、ていねいな手紙を書いていました。そうするとなんと、各都道府県からたくさんのお返事をいただきました。わざわざお礼のお電話をいただいたり、プレゼントを届けていただいたりもしました。ある県からは、「コロナで県庁職員もピリピリしている中、このようなあたたかい手紙をもらって、職員みんな喜んでいます。」とわざわざ訪問くださったこともありました。子どもたちのがんばりや、素直な気持ちが伝わっているのだなとうれしく感じています。がんばってよかったなという学習になったのでは、ないでしょうか。